

# 東日本大震災における 日本マイクロソフトの活動

日本マイクロソフト株式会社  
パブリックセクター統括本部  
業務執行役員 公共営業本部長  
光延裕司

**Microsoft**<sup>®</sup>

# 日本マイクロソフト株式会社

## Mission

世界中のすべての人々と  
ビジネスの持つ可能性を  
最大限に引き出すための  
支援をすること。



## 企業向けのビジョン

社員にチカラを  ITで企業力を。  
Because IT's everybody's business

社員力を、経営力に。  
**people ready business.**



## 理想とする働き方

インフォメーションワーク  
人、情報、業務プロセスを相互につなげ、  
個人の可能性を引き出し、組織の生産性と  
創造性を最大限に向上させるワークスタイル

## 目指す企業像

- お客様に顔が見え、親しまれ、かつ尊敬される企業
- パートナー様との密な協業を推進できる企業
- 前向きで生き生きとした人材にあふれ、  
仕事を通じて自己の成長を実現できる企業
- ビジネス市場、コンシューマ市場において、  
常に革新的な技術をお届けできる企業
- 日本社会に根ざし、良き企業市民として、社会に貢献できる企業

# 注力分野

## UP - デジタルインクルージョンの推進

### 教育

小中高等学校、高等専門学校、大学期間を対象に、教育現場での効果的なIT活用を支援し、次世代を担う若い才能の実現に貢献します。

### 社会参画

障害者、シニア層、女性、無業の若者、NPOなどを対象に、ITの活用を通じて一人一人の多様な生き方と新たな可能性の実現を支援します。

### 地域活性化

ITベンチャー企業、IT分野での就職を目指す学生を中心に、地域のIT産業を支援し、日本初のイノベーション創出をサポートします。

## 責任ある企業活動

### セキュリティ

ITベンチャー企業、「自社製品、サービスでの取り組み」「パートナーシップ」「セキュリティ啓発」の3つの領域で、安心、安全なインターネット環境の実現に取り組んでいます。

### 知的財産

ソースコードへのアクセス権やライセンス提供、研究助成基金により、知的財産の創出や保護、適切な利用による日本の産業振興を支援します。

### 環境

グローバルな社会的課題であるエネルギー削減・省電力化に注力し、「自社オフィスの省電力化」や「クラウドやITを活用した省電力化ソリューションの展開」などに積極的に取り組んでいます。

### 災害支援

東日本大震災の被災地を中心に、ITインフラの復旧やライフラインの立て直しなど、全世界のマイクロソフトが一丸となった中長期的な支援を続けています。

### その他

各国における法令順守はもとより、独自にさらに高い水準の行動規範を策定しています。その他にも医療の効率化や社員による地域社会への貢献などにも取り組んでいます。

# 東日本大震災と 日本マイクロソフトの対応

お客様向けの被災支援

社内に残ったお客様への対応

- 約380名のお客様が30F, 31F会議室に足止め
- タクシー・ホテルの手配
- 宿泊のための会議室開放
- 食料の確保(サバイバルキット + 買い出し)

「計画停電カレンダー」構築

Windows PC 節電対策Webサイト構築

文科省・放射線情報提供サイト構築

トヨタG-Book 対応「通れた道マップ」構築

各部門で対応プラン策定

- Azure /Office 365 /CRM Online無償パス
- MSKK主導によるミラーサイト構築支援

地震発生

3/11  
14:46

12

13

14

15

16

17

18

19~21

22~

社内での対応

震災対策本部の設置

“5Priorities” を定義

緊急対応情報の発信

- 役員を中心とした横断組織
- 本社から対応スタッフ来日

サポート部門の拠点を移動

(調布→品川・大阪・名古屋)

5プライオリティに基づく情報発信を継続

- #1: 社員および社員家族の安否確認
- #2: 電力制限時の対応など、ビル・オフィスでの対応や社内プロセス
- #3: お客様およびパートナー様への対策
- #4: 政府、NGO、Citizenship活動としての施策
- #5: コミュニケーション (外部および内部) 施策

在宅勤務を推奨

原則 在宅勤務へ

在宅勤務率 85%

通常勤務にシフト

安否確認




勤務状況の管理

所在地の確認や今後のアクションについて情報収集

Microsoft®

# ICT利活用のポイント

---

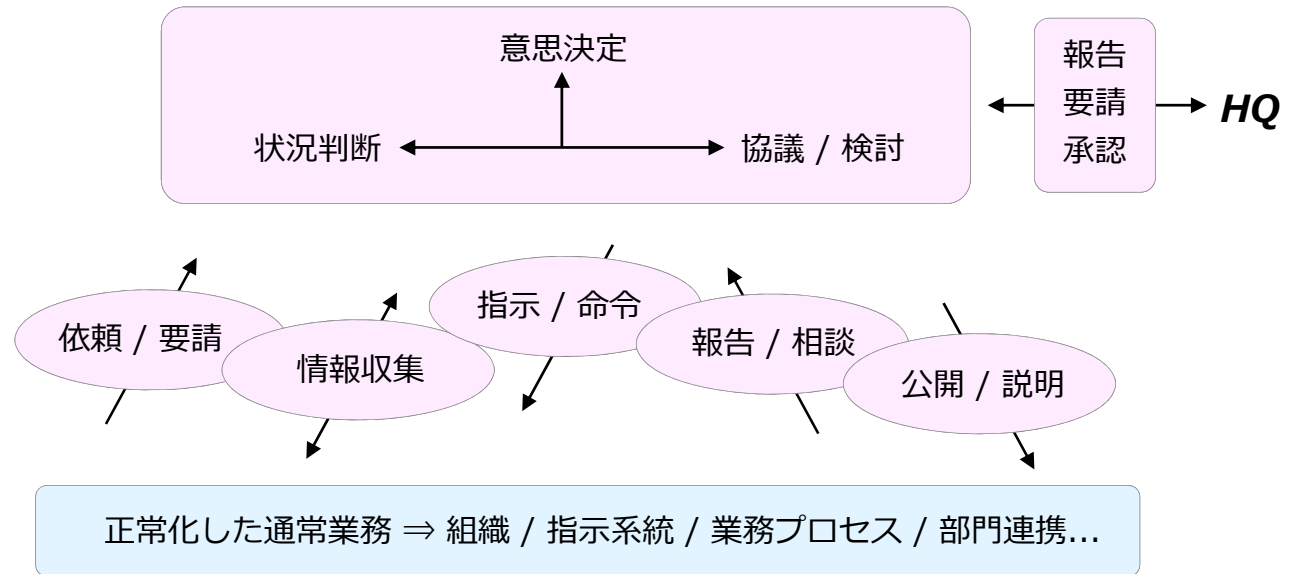
- 日本マイクロソフトの 社内での対応
  - 職員の安否確認と緊急時の情報連携 
    - 被災直後の連絡・連携手段
    - 安否確認の方法
  - 日本マイクロソフトの支援活動
    - クラウドを活用した自治体・公共機関の情報発信の支援 
      - クラウドを活用したミラーサイト構築
      - ニーズの高い情報を視覚的に提供
      - 復旧・復興支援ナビ、復旧・復興支援制度情報データベース
    - 被災地域におけるICT活用支援 
      - 情報インフラの提供：ICTキャラバン隊 PC約3,000台の寄贈
      - クラウドを活用したソリューションを開発・提供
        - ※ 弊社パートナー様にて開発
      - 仮設住民健康生活支援プロジェクト

# 職員の安否確認と 緊急時の情報連携

# Inside Microsoft — 非常時における「事業継続」と「緊急対応」 —

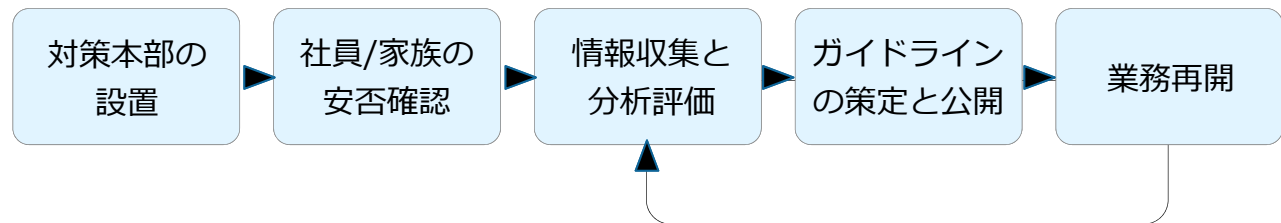
## 緊急対応

「非常事態」に合わせ  
「特別対応」を  
「迅速」に行う  
難易度：A ~ A+++



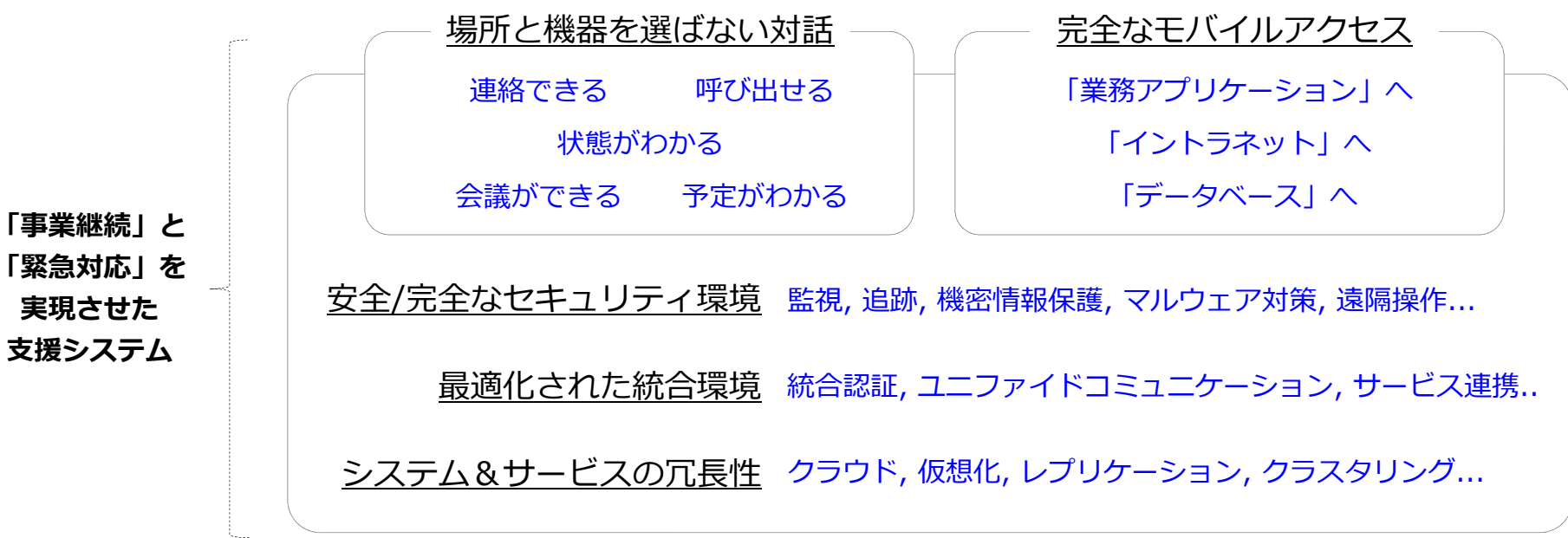
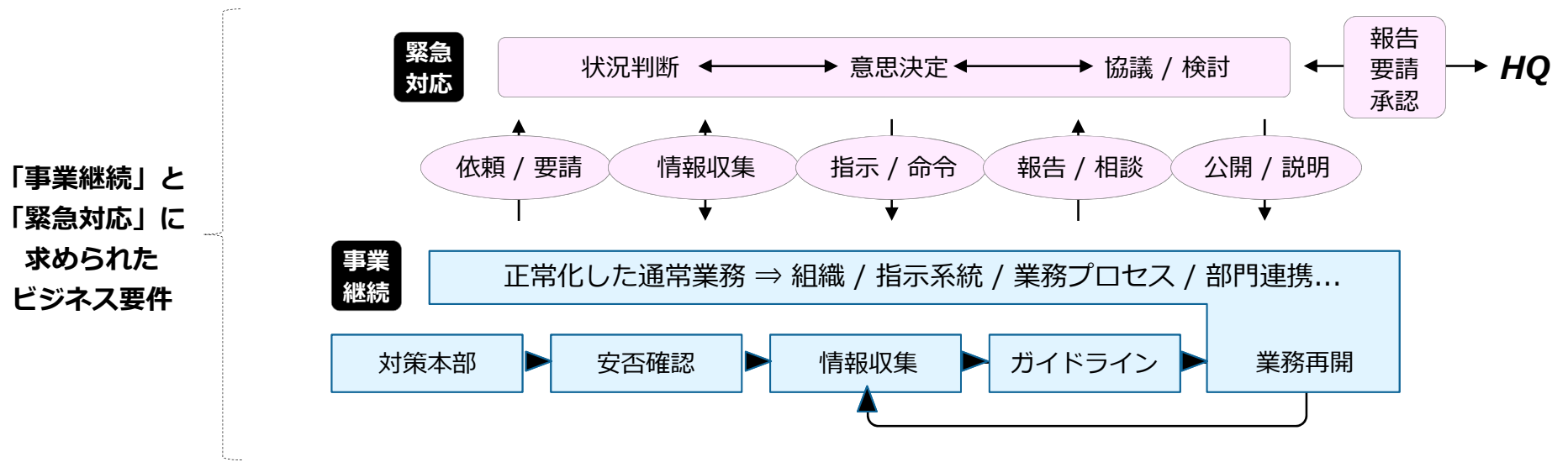
## 事業継続

「非常事態」において  
「通常業務」を  
「平常通り」に行う  
難易度：B ~ A





# Inside Microsoft — 非常時における「ビジネス要件」と「支援システム」 —

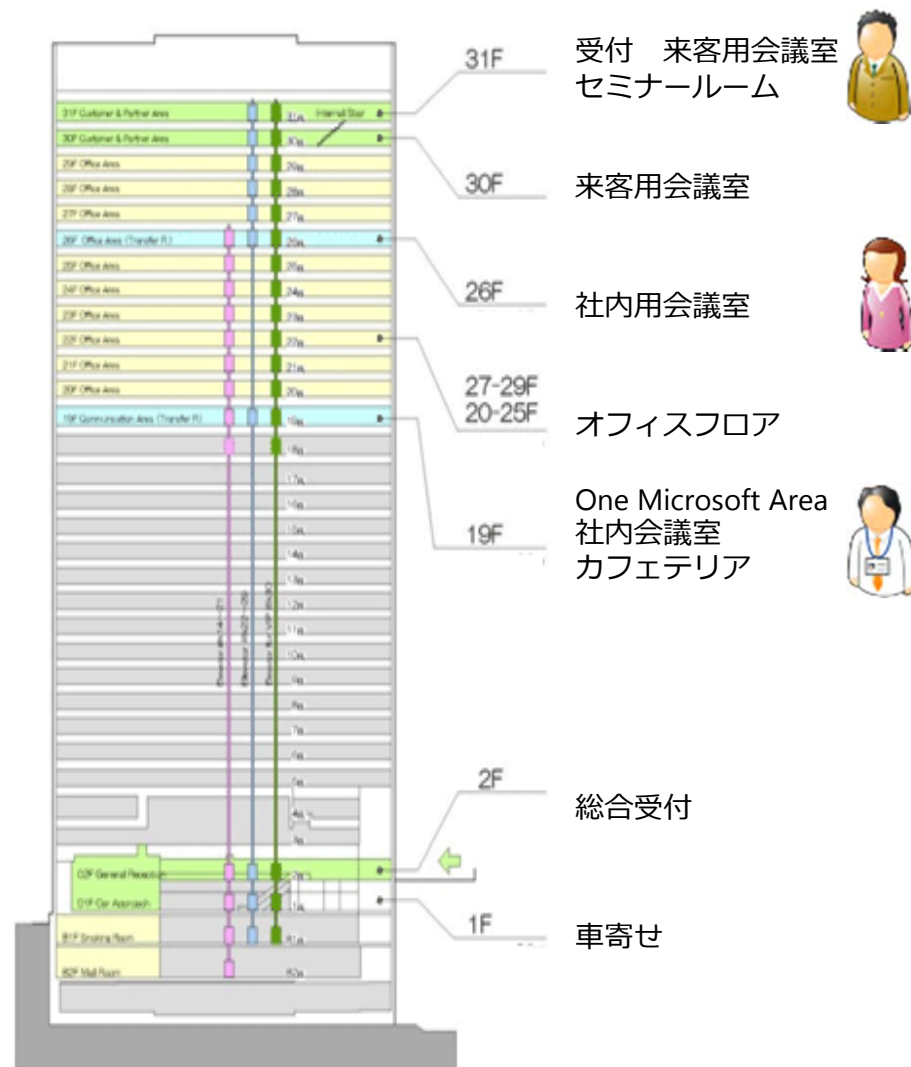
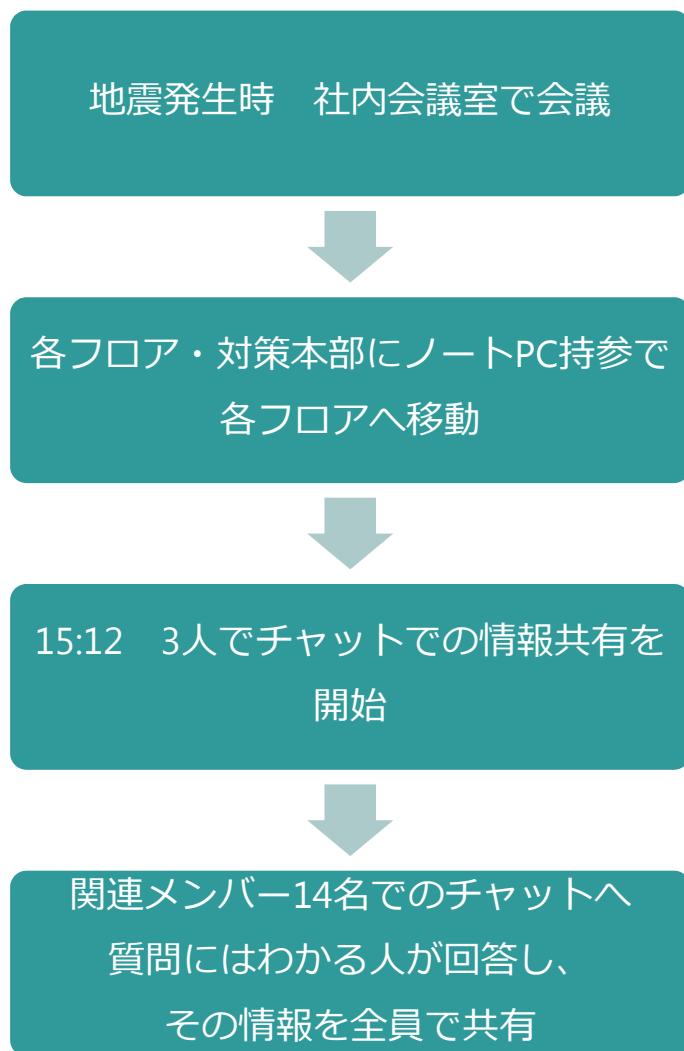


# 日本マイクロソフト事例：

## 3.11 安否確認、状況把握、次のアクションを支えたコミュニケーション基盤

総務部門スタッフは、電話が繋がらない中、地震発生直後からチャットを活用し、安否確認／状況把握／震災対策本部（社長室）との連携を実現

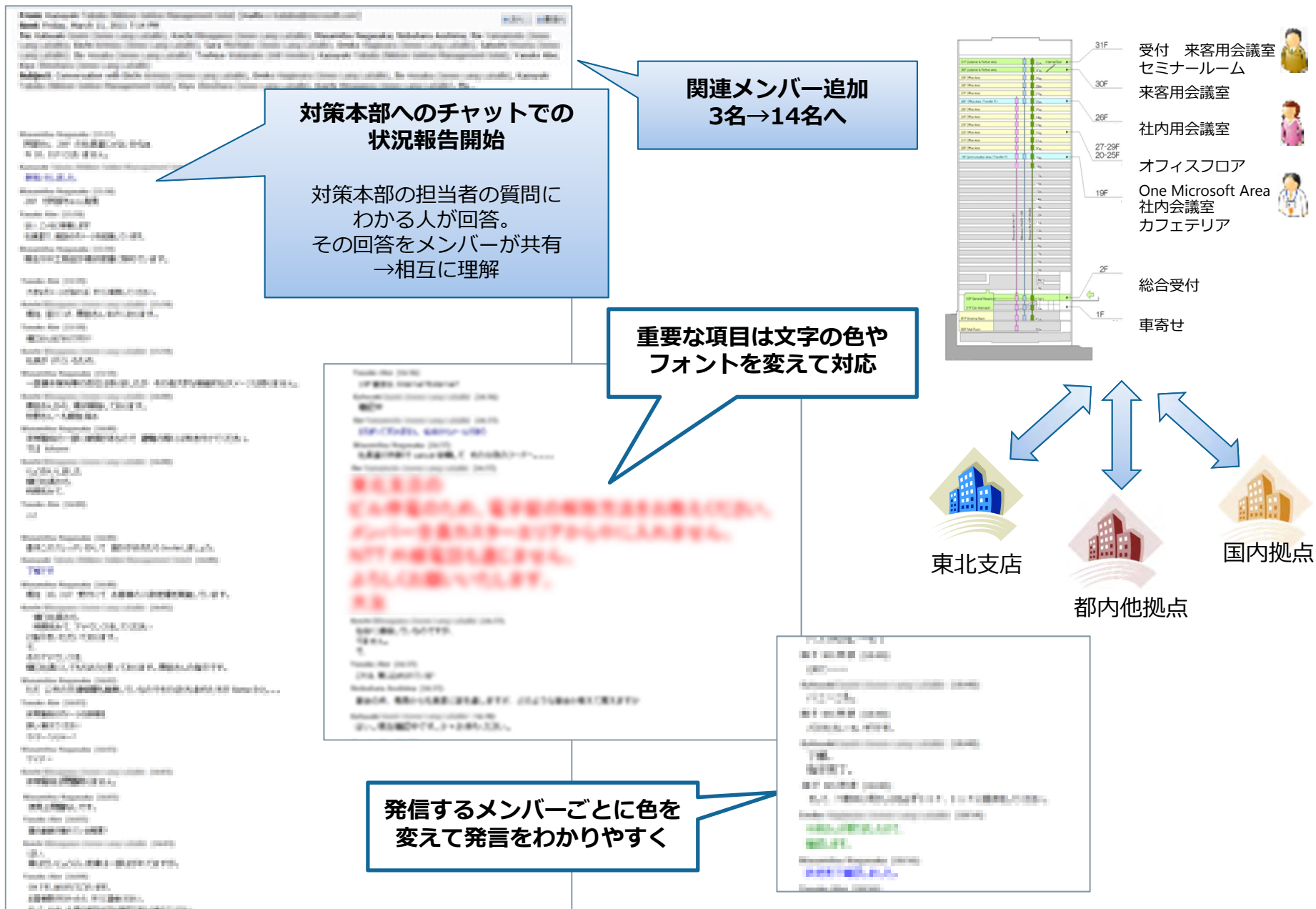
**毎日活用し、慣れ親しんでいるコミュニケーションツールだから実現した迅速な対応**





# 日本マイクロソフト事例：

## 3.11 安否確認、状況把握、次のアクションを支えたコミュニケーション基盤



# 在席状況の把握と電話（音声回線）だけに頼らない通信手段の実現

- ◎ 日々使い慣れている在席表示（プレゼンス）チャットの活用
- ◎ 音声（電話）だけに頼らない安否確認方法・通信手段の実現
- ◎ **有事の際のみならず、普段の業務で使いこなすことで、緊急時の素早い対応・混乱軽減へ**



① 相手の状況を一目で確認

② 即座に文字で会話

● 有事の際にも「使える」ポイント：  
**名前の一部がわかれば人を探せる**  
 覚えてないと探せないメールアドレスなどではなく、人の名前で検索できます。  
 また配布リストで検索して、グループに対してメッセージを一斉送信できます。

②' グループに対して一斉にメッセージ送信も可能

自宅PCのブラウザでもメールの確認

情報共有サイトで最新の通達を確認

事業継続性の強化へ...

# 在席状況の把握と電話（音声回線）だけに頼らない通信手段の実現

- 音声回線が利用できないとき「PCが第二の通信手段」に
- インターネットがつながれば利用可能

## 災害時の利用例



# Inside Microsoft ～非常時にもビジネスを止めない仕組み～

	シーン・要件	社内での対応	主なITサービス
安否確認	震災時に様々な場所で働くすべての従業員の安否情報を迅速に把握する	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の安否確認サービスよりも早く全員の安否を確認</li> </ul>	モバイルアクセス プレゼンス IM メール IP電話
震災対策本部の設置	刻々と変わる状況の把握とそれに応じた迅速な意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員を中心に会議体を設定</li> <li>対策本部用のサイトを立ち上げ</li> <li>ガイドラインの決定</li> <li>ガイドラインの従業員への周知</li> </ul>	モバイルアクセス 予定管理 Web会議 共有サイト
緊急対応情報の共有	決定された方針・ガイドラインを的確に全従業員に伝達すると共に、従業員から上がってくる情報を整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様企業の被災状況を担当営業ごとに調査し結果をサイトで一元管理</li> <li>“5つのPriorities”を定義し、JSLTからメールやポータルサイトで情報発信</li> </ul>	モバイルアクセス メール 共有サイト
勤務状況の管理	従業員の状況に応じて選択される勤務状況を把握管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅勤務・通常勤務・お客様訪問・地方避難など各自の予定と所在地情報を集約</li> <li>社員だけでなく派遣社員についても同様の仕組みで把握</li> </ul>	モバイルアクセス 予定管理 共有サイト
在宅勤務	自宅などの社外でも、平時と同様の作業環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務場所に関わらず、通常どおりのPC/IT環境を利用して業務を行う</li> <li>予定されていた社内会議もWeb会議で代行</li> <li>計画停電の際も、ノートPCのバッテリーにより、平時と変わらないPC利用</li> </ul>	モバイルアクセス リッチクライアント 暗号化 予定管理 メール プレゼンス IM IP電話 Web会議 共有サイト
被災支援	従業員個人と会社からのマッチングによる募金活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有サイトから義援金の申し込みを受付</li> </ul>	共有サイト

# 東日本大震災、 日本マイクロソフトの支援活動



重要な情報を  
発信するサイト  
を守る

ニーズの高い  
情報を視覚的  
に提供

復旧・復興支援ナビ  
復旧・復興支援制度情報  
データベース

情報インフラ  
の提供  
PC 約3000台

クラウド活用のソリューションを  
開発・提供

仮設住民健  
康生活支援  
プロジェクト



# クラウドによる自治体、 公共機関の情報発信の支援

# 重要な情報を発信するサイトを守る クラウドを活用したミラーサイト構築

- アクセスが集中して情報提供が困難になったWebサイトをクラウドに複製して負荷分散
- (平均構築時間2-3時間)
  - 岩手県庁
  - いわて防災情報ポータル
  - 栃木県庁
  - NHK字幕情報
  - 東京電力の計画停電情報(msnでの情報提供)
  - クラウドの可用性、拡張性



# クラウドで支援したミラーサイト

自治体情報	
<a href="#">岩手県庁 *</a>	岩手県庁 Web サイトの情報をミラーサイトで提供しています
<a href="#">いわて防災情報ポータル *</a>	岩手県の地震被害情報、医療情報、避難者名簿などの情報をミラーサイトで提供しています
<a href="#">栃木県庁</a>	栃木県庁 Web サイトの情報をミラーサイトで公開しています
ニュース、地域情報	
<a href="#">岩手日報 *</a>	岩手日報 Web News をミラーサイトで公開しています
<a href="#">NHK字幕情報 *</a>	NHK の字幕情報を公開しています
<a href="#">tweetradio</a>	Twitter の東北地方太平洋沖地震アカウントを音声で提供しています
<a href="#">Map MashUp Manager for 0311</a>	東北地方太平洋沖地震に関連した Twitter 等の現地リアルタイム Web 情報を地図上に集約して表示するサービスです
原発・放射線観測情報	
<a href="#">文部科学省 全国の放射線モニタリング状況</a>	放射線観測最新データ(全国都道府県別)が掲載されています
<a href="#">東京都健康安全研究センター *</a> <a href="#">東京都 都内の環境放射線測定結果</a>	都内の環境放射線測定結果などをミラーサイトで公開しています
<a href="#">茨城県環境放射線監視センター *</a>	放射能テレメーターの情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">原発に関するQ&amp;Aまとめ *</a>	東大原子力系卒業生および有志協力チームによる「原発に関するQ&Aまとめ」を公開しています
震災者安否情報	
<a href="#">ボイス対応被災時緊急連絡用アプリ「J! ResQ」</a>	PC、携帯電話、スマートフォンから安否状況の登録(GPS対応、音声、メモ)、確認ができるサービスです
<a href="#">安否確認 Cross Finder</a>	Google Person-Finder および Twitter による安否情報 (#anpi) を横断的に検索して安否情報を表示します

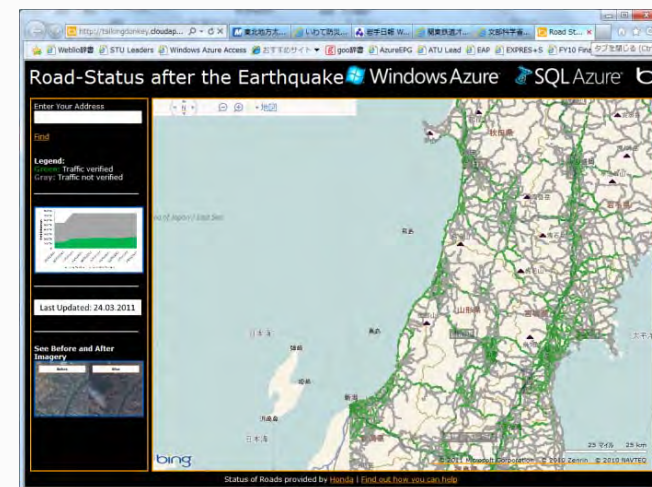
# クラウドで支援したミラーサイト

交通情報	
<a href="#">関東鉄道 *</a>	関東鉄道の交通情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">航空会社運行状況横断把握システム</a>	国内航空会社運行状況について、JAL・ANA両方の運行が一度に確認できます
<a href="#">東北地方 通行可能道路マップ</a>	震災後の交通可能な道路を地図表示(本田技研工業株式会社提供、通行実績データを利用)、また、震災の前後を航空写真で比較できます
停電情報	
<a href="#">東北電力 計画停電情報 *</a>	東北電力の計画停電情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">東京電力 計画停電情報</a>	東京電力の計画停電情報をミラーサイトで公開しています
募金・ボランティア情報	
<a href="#">日本赤十字社 ボランティア受付 *</a>	義援金やボランティアの受付をしています(ミラーサイト)
<a href="#">千葉県災害ボラセン連絡会 *</a>	ボランティア活動情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">福島県社会福祉協議会 *</a>	地震情報、ボランティア募集についての情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">茨城県社会福祉協議会 *</a>	災害情報、ボランティア募集についての情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">福祉ネットあおもり *</a>	青森県社会福祉協議会ホームページの情報をミラーサイトで公開しています
<a href="#">仙台市社会福祉協議会 *</a>	ボランティア募集についての情報をミラーサイトで公開しています

# ニーズの高い情報を視覚的に提供

国民に迅速に公開すべき情報を提供するWebサイトの構築

- 文部科学省 放射線モニタリングサイト
  - 上水と大気の放射能水準調査結果を全国都道府県別に時系列にグラフ化
  - 1日4回、約70件のモニタリングデータを毎日HPに掲載
  - 日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語による情報発信日本語と英語での提供
  - 発注～構築＝1日間
- トヨタ G-BOOK「通れた道マップ」
  - 自動車の通行実績データ(プローブカーデータ)を元に通行可能ルートを示す
  - 発注～構築＝5日間
  - クラウドでの開発の迅速性



# 復旧・復興支援ナビ 復旧・復興支援制度情報データベース

被災者の利用希望に合った国、県、市町村の支援制度の検索と情報提供

- 行政機関がそれぞれ提供していた支援制度の情報をワンストップで提供
- 被災者の状況に応じて、利用できる制度を抽出
- 低い運用コストとサービス提供の迅速性

復旧・復興支援制度情報データベースの特徴

- データフォーマットの標準化によって、「リンク集ポータル」を超える価値を実現し、横断的な検索や比較等が可能に。
- 登録情報の2次利用の促進
  - データベース登録の支援制度情報は、機械によるアクセス(マシンリーダブル)も前提として再利用可能を促進
- 民間との連携(新たなサービスの可能性)
  - 外部利用を容易にするため、API提供予定。

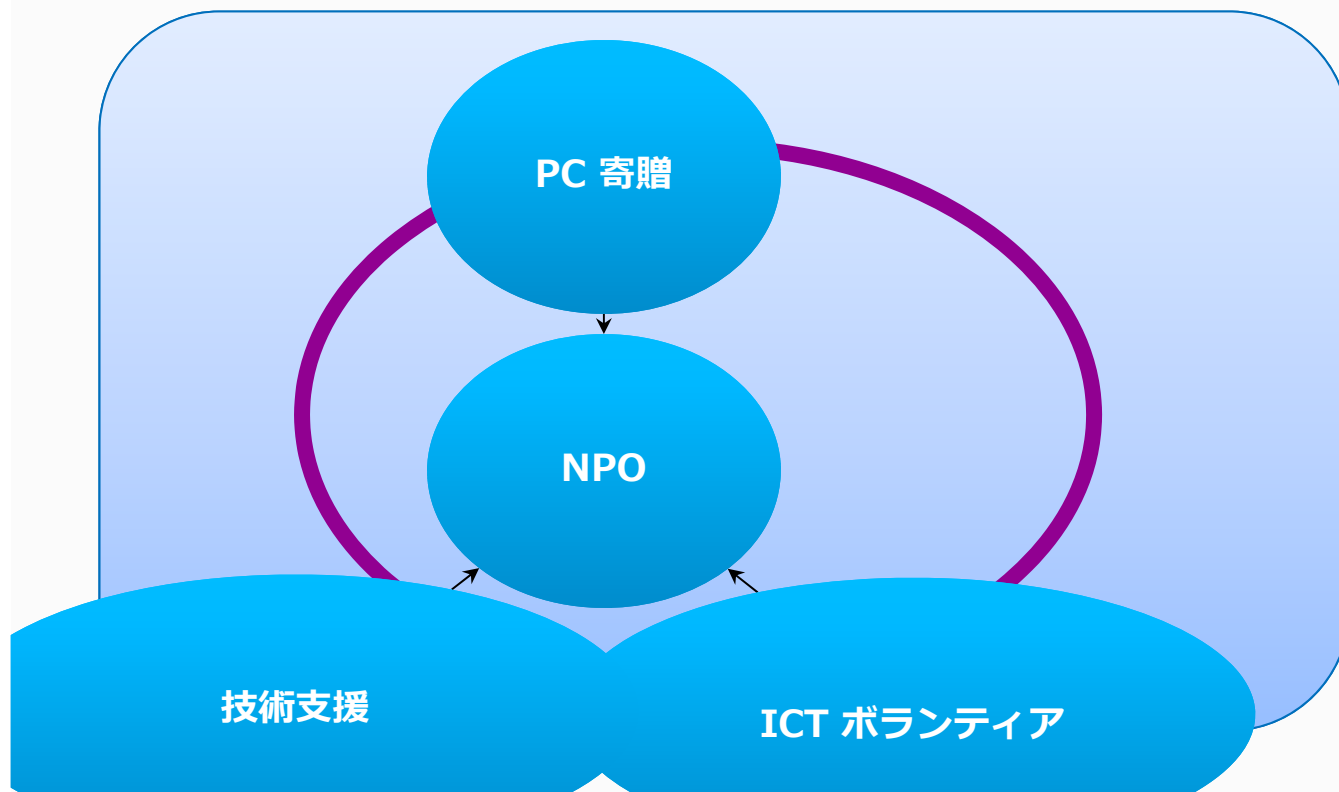


# 被災地域における ICT活用支援

# 情報インフラの提供： ICTキャラバン隊 PC約3,000台の寄贈

－命をつなぐ情報を自らの手で届ける－

- 被災地において支援活動を展開するNPO/NGO・並びに被災者の方々がインターネットに接続されたパソコンを用いることで、様々な情報活用やコミュニケーションのできる環境の提供を目的とした活動です。PC 及びインターネット接続と利用環境を想定した設定・設置までを含めた総合的な支援を提供しています。ICT 業界27社が連携した「社会貢献プロジェクト」です。





# 情報インフラの提供： ICTキャラバン隊 PC約3,000台の寄贈

－命をつなぐ情報を自らの手で届ける－

- フェーズ1：  
「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」と連携し、災害ボランティアセンターの情報基盤強化を図り、各自治体の災害ボランティアセンターの情報活用を支援
- フェーズ2：  
NPO 事業サポートセンター、内閣官房災害ボランティア連携室（助け合いジャパン）と連携「情報ボランティア」活動を通じ避難所及び仮設住宅の共有スペースでの被災者への情報提供を支援



# クラウド活用のソリューションを開発・提供 緊急時に強いクラウドシステムを現地のスタッフへ提供

有限会社ページワン、株式会社CSK Winテクノロジーと共同で最小限のネットワーク環境とPC環境を用意するだけで、被災者からの要望や問い合わせを管理・情報共有し、現地での課題やニーズを把握・管理できるクラウドサービスを提供

□ NPO/自治体向け「復興活動支援クラウド」

□ 避難者・支援物資・ボランティアの管理など避難所の運営をサポートする「震災復興支援システム」

- 各自治体のセンターと活動されている現地ボランティアの情報共有基盤として活用。インフラや交通機関が整わない中でクラウドの利点(何処からでもアクセス可能)を生かした機動的なコミュニケーションを実現
- 被災者や避難所に関する各種情報を体系的に一元管理
- CRM(顧客管理ソフトウェア)を活用することで様々な情報を時系列に管理でき、多角的に参照できることで、変化するニーズに対応
- Excelとの親和性によりオフラインで利用しているPCのデータの取り込みや出力も可能
- クラウドを利用することで自治体、社会福祉協議会、NPO等の異なる組織間での情報共有基盤としても活用

The image displays a screenshot of a web-based disaster relief management system. The interface is divided into several sections, each highlighted with a blue box and a label:

- ボランティア一覧** (Volunteer List): A table listing volunteer names, roles, and contact information.
- 避難所一覧** (Disaster Relief Shelter List): A table listing shelter names, locations, and capacities.
- 避難者一覧** (Disaster Relief Shelteree List): A table listing shelterees, their names, and their current status.
- 支援物資一覧** (Support Material List): A table listing donated supplies, quantities, and distribution status.
- 日報の入力画面** (Daily Report Input Screen): A form for entering daily reports, including fields for date, location, and report content.
- 提出された日報の一覧** (List of Submitted Daily Reports): A table showing a list of submitted reports with columns for date, location, and status.

Additional elements visible in the screenshot include a navigation menu on the left, a top header with the title "支援P共有(岩手県災害ボランティアセンター)", and a right sidebar with "Webメール" and "Outlook スマートフォン" options.

# クラウド活用のソリューションを開発・提供

## 現地の声 ソーシャルメディア活用

株式会社マイスター

Twitterのつぶやきを地図にマッピングし、  
被災地域のニーズを把握

- Twitterのジオタグを利用し、指定した地域や特定の場所のつぶやきをモニターすることで、被災地域にいる人々の状況やニーズを把握
- 特定のキーワードの出現をカウントするなどにより、必要な対応を推測
- ソーシャルメディアからの情報の取り込みによる状況把握



## 「J!ResQ」 緊急連絡用モバイル・アプリ

日本デジタルオフィス株式会社

携帯電話やスマートフォンから災害時の安否確認  
などの緊急連絡をクラウドで共有

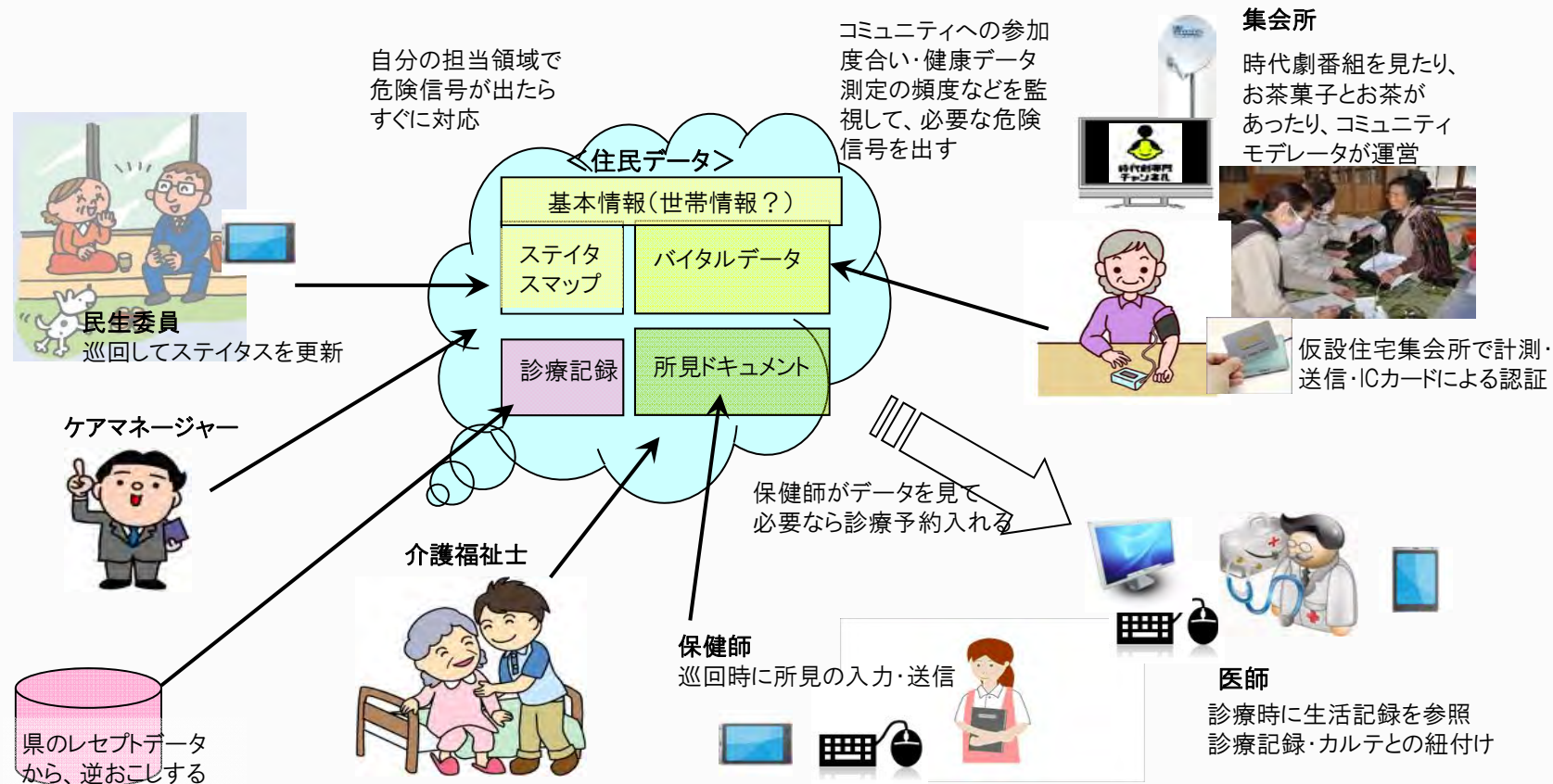
- 自身の音声や位置情報をあらかじめ登録されたメールアドレスに送信
- 発信者のメールアドレスで、登録されていない人からも検索が可能
- Bing MapsやGoogleマップと連動
- 多言語対応
- 写真の登録やFacebook連携等の拡張予定
- 海外からの利用などの接続性



# 仮設住民健康生活支援プロジェクト

岩手県の仮設住宅・在宅の被災者(高齢者など)に対して、ICTを活用して医療福祉情報を共有しながら、多機関・多職種(保健士、医師、看護師、介護福祉士、栄養士、ケアマネジャー e.g.)で連携したチームで住民サービスが提供できる環境を構築するという実証プロジェクト。

- CRMのクラウドサービスとモバイル端末の環境を提供することにより、担当者が訪問先での情報の登録、修正、参照を可能にすることで、チーム支援を行う担当者の人手不足や作業の効率化を支援する。
- 12月から大船渡市、大槌町の仮設住宅でスタート。



# 震災からのICT利活用に関する学び

---

- モバイルアクセスと多様なコミュニケーションインフラの有効性
  - 平常時に利用しているモバイルアクセスおよびテレワーク環境が非常時のコミュニケーションインフラへ
- クラウドの有効性
  - クラウド（特にPaas）が過去に無い迅速な対応を可能に
    - 自治体情報Webサイト継続の支援
    - 文部科学省放射線モニタリングサイト
    - クラウド活用のソリューションを開発・提供
  - クラウドを活用した複数機関の連携
    - 復旧・復興支援ナビ、復旧・復興支援制度データベース
    - クラウドによる避難所、ボランティア支援
    - 仮設住民健康生活支援プロジェクト
- 普段から使い慣れたシンプルなITツールの有効性
  - 情報入力、整理、出力におけるExcelの利活用
    - ICTキャラバン隊での被災地へのPC無償提供

# 參考資料

# Windows PCの節電対策

The screenshot shows a Japanese Microsoft website page titled "Windows PC 節電策" (Windows PC Energy-Saving Strategies). The page features a green header with a laptop icon and the word "SAVE". Below the header, there is a main heading "1 PCの電力消費、節電効果について理解する" (1 Understanding PC power consumption and energy-saving effects). Under this heading, there are two columns: "すぐ理解するには..." (To understand quickly...) and "詳しく理解するには..." (To understand in detail...). The "すぐ理解するには..." column lists links for "Windows PC 省電力設定" (Windows PC Power Settings), "PDF 版 (約 500 KB)" (PDF version, approx. 500 KB), and "XPS 版 (約 500 KB)" (XPS version, approx. 500 KB). The "詳しく理解するには..." column lists a link for "Windows PC 省電力設定に関する WSL (英語)" (WSL regarding Windows PC power settings, English). Below this, there is a section "2 PCを節電設定に変更する" (2 Changing PC to energy-saving settings). This section has two columns: "個人向け" (For individuals) and "企業向け" (For businesses). The "個人向け" column includes a link for "Windows PC 自動節電プログラム" (Windows PC automatic energy-saving program) and a graphic showing a bar chart with a blue arrow pointing to a green bar, labeled "約 30% 節電" (approx. 30% energy saving). The "企業向け" column includes a link for "グループポリシーで Windows PC の電力設定を変更する方法" (How to change Windows PC power settings using Group Policy). At the bottom, there is a "Fix it" section with a link for "Windows PC 自動節電プログラムをインストール" (Install Windows PC automatic energy-saving program). A small note at the bottom states: "※なお、あるが一部のパソコンは、パソコンメーカー製の電源ソフトウェアが搭載されている場合は、パソコンメーカー製のものを装着してご利用ください。設定が変更できない場合があります。" (Note: For some PCs, if the manufacturer's power software is installed, please use the manufacturer's software. Settings may not be changeable.)

## 理解する

- Windows PC 消費電力検証結果詳細レポート
- カタログダウンロード

## 変更する

- Windows PC 自動節電プログラムインストール
- 企業向け展開ホワイトペーパーダウンロード

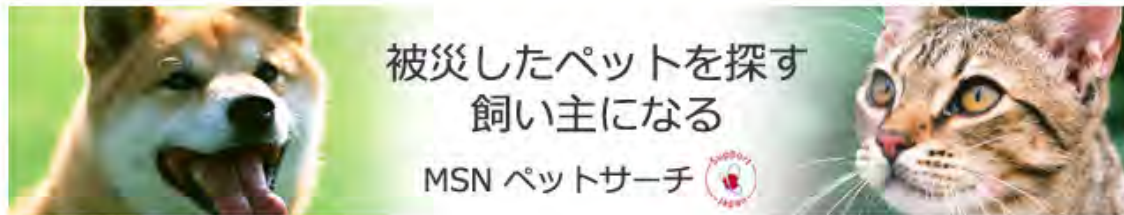
## 無償で問い合わせる

- 一般ユーザー向け節電設定無償電話サポート窓口

<http://www.microsoft.com/japan/setsuden>

# MSNペットサーチ

トップ イヌ ネコ



MSN ペットサーチは、東日本大震災で被災したペット（イヌ、ネコ）の写真・情報を掲載しています。震災によりペットと離れ離れになった飼い主は、写真や情報を元に飼っていたペットを探し、見つけた場合には記載の連絡先までご連絡ください。

また、飼い主を失った、あるいは飼うことができないペットについては新しい飼い主を募集します。これを機会に保護されたイヌ、ネコを新しい家族として迎えるということを考えてみませんか？

イヌを探している・飼い主になりたい

[イヌの一覧へ](#)

▶ 元の飼い主を探しています | 写真一覧へ



▶ 新しい飼い主を募集しています | 写真一覧へ



Support Japan  
msn  
明日のためにできること

Facebookもチェック

facebook



MSN ペットサーチ | MSN Pet Search

いいね!

あなたが「いいね!」と言っています。



MSN ペットサーチ | MSN Pet Search

かなり時間を空けてしまいましたが、去年末、どうぶつ救援本部さん主宰の被災ペットの飼い主さん向けクリスマスプレゼントBOXに、MSN ペットサーチからもささやかなプレゼントを用意させていただいた、とお伝えしました。その時の中身は写真のような"イヌ型携帯LEDライト"でした。震災時にライトが重宝しその後売り切れ続出だったこと、またペット（ライト）と"いつでもいっしょに（持って）いたい"という気持ちをかけて、どうぶつ型小型ライトをつく

Facebookソーシャルログイン



# 海外事例：マイクロソフトの企業市民活動

## Disaster Response Portal

- 30分以内で提供可能
- 地図情報、SNS連携、RSSフィード、検索機能
- 多言語自動翻訳

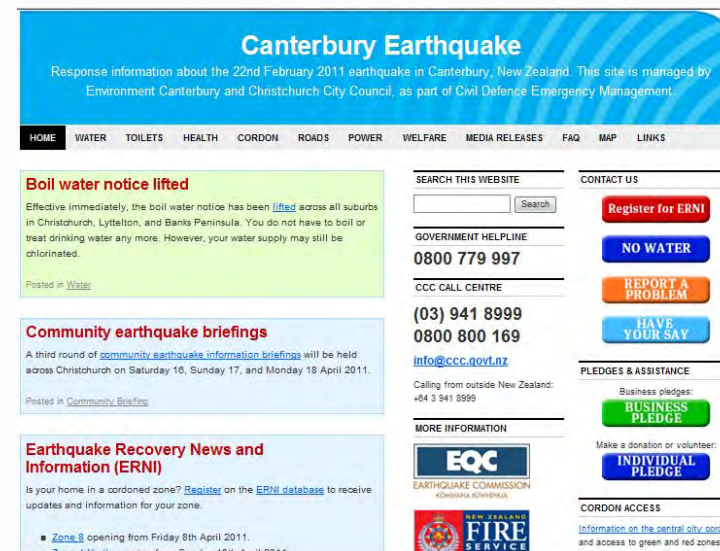
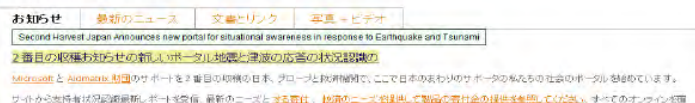
## Public Pledge Portal

- ニュージーランド地震からのクライストチャーチの復旧のため、The Ministry of Civil Defenceが運営するサイト
- 企業やNPOが提供する物資やサービスのマッチング

フードバンクの場所



最新のニュース & 情報



# 海外事例：ハイチの復興支援

ハイチの復興プロセスを管理するためのポータルサイト

- 市民、省庁、建設業者、資金提供者が利用
- ハイチ政府とハイチ復興委員会のWebサイト
- 多言語での情報提供
- 地図情報を活用
- 情報の多次元分析

The screenshot shows the homepage of the Interim Haiti Recovery Commission. The header features the logo and the slogan "Building a brighter future for Haiti". The navigation menu includes "Projects", "Recovery Plan", "Media", "Pledges", "Goals", "News & Events", "About Us", and "Contact Us". The main content area is divided into several sections: "Projects" with a "Submit Your Project" button, "Recovery" with an "Action Plan" section, "Media" with "Press Releases" and "Media Coverage", and "Pledges" with a "View The Pledges From Around The World" link. A "LATEST NEWS" section is also present, listing recent updates such as "BEGINNING OF OPERATIONS OF THE OFFICE ..." and "IHRC Board Approves \$255 Million in ...".

The screenshot displays the "Plateforme Gouvernementale Intégrée d'Haïti" website. The header includes the logo and the text "Plateforme Gouvernementale Intégrée d'Haïti". The navigation menu consists of "Projects", "Collaboration", and "Business Intelligence". A search bar is located in the top right corner. The main content area features a "Projects" section with a "Map Page" link. A map of Haiti is shown, with a legend indicating project categories: "AGRICULTURE AND RURAL DEVELOPMENT" (3 projects), "EDUCATION (IHRC)" (43 projects), and "OTHER" (1 project). The map also shows various locations like "Port-au-Prince", "Gonaïves", and "Cape-Haïtien".

***Microsoft***<sup>®</sup>

© 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Windows, Windows Vista and other product names are or may be registered trademarks and/or trademarks in the U.S. and/or other countries. The information herein is for informational purposes only and represents the current view of Microsoft Corporation as of the date of this presentation. Because Microsoft must respond to changing market conditions, it should not be interpreted to be a commitment on the part of Microsoft, and Microsoft cannot guarantee the accuracy of any information provided after the date of this presentation. MICROSOFT MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, AS TO THE INFORMATION IN THIS PRESENTATION.